

【緊急支援のお願い】【拡散してください】

皆さま、Facebook で何度か投稿していますが、ルワンダの今回の大雨季、大量の雨が降り、ワンラブランドの施設が3度も洪水の被害を受けました。

もともとワンラブランドは低地にあり、水はけの悪い土地ではあったのですが、近代化を目指すルワンダにおいて、あまり計画的でない都市開発のため、ワンラブが受ける被害が増えているという現状があります。

まず舗装道路。キガリ市はあちこちの道路を舗装しています。今までは雨が降っても、土に水がしみこんでいき、大水になることはなかったのですが、アスファルトや石畳で固めてしまった道路、水の行き場がなくなり、大量の水がワンラブに流れ込むようになりました。

そして下流のことを考えず作った排水路。キガリ市はワンラブを流れている川の上流に排水路を作り、河岸を固めました。それまでは適当に分散されていた雨水が一気にそこに溜まるようになり、溜まった水は濁流となってワンラブ内に流れ込んでいきます。

大雨が降ると、それら行き場の限られてしまった水が一時にワンラブを流れ、雨の降らないときは水深20センチほどの川が、一気に4メートル近くまで水かさを増すのです。

その水がワンラブランド内にあふれ、活動資金を生み出すために運営しているレストランやゲストハウスにまで流れ込み、今回のような状態になります。

過去にも数度同じようなことがありました。その時は土地全体に1メートル以上土を盛り、しばらくはそれで大丈夫だったのですが、今年の雨量は例年以上となっているため、既にこの雨期の期間に3度の被害に遭っています。

幸いにも今のところは義肢製作所の方までは被害がなく、材料や機械などは無事です。

しかし活動資金を作るための大切な手段（レストラン・ゲストハウス）は大きな被害を受け、消毒・ペンキの塗りなおし・泥にまみれ使い物にならなくなってしまったものの補てんや修理など、予想をしていなかった出費となっております。

そして何よりも手掛けたい河岸の工事。過去の洪水の時にも土嚢を積み上げ、その都度対応してきたのですが、流れる水の勢いですぐにその土嚢は使い物にならなくなってしまいます。水のでその土嚢が破れてしまうのです。残念ながらルワンダでは頑丈な素材の袋がなく、お米などを入れている袋に土を詰めて土嚢にしています。今回も同じような対応になるかもしれませんが、とにかく土嚢で河岸を工事しないことには、どんどん土壌が侵食され、さらに被害が大きくなる可能性があります。

そこでいつも皆さまにお願い事ばかりしていて、とても心苦しいのですが、どうぞ皆さま、一日も早くワンラブが復活しますよう、修理費用のご支援をお願いします。

ここではあえて工事・修理に必要な金額は提示しません。なぜならば河岸工事を本気でやろうと思ったら、それだけで300万円近く必要になってしまうのです。

だからとにかく集まった資金で、優先順位を決めながら、被害に遭った場所の工事・修理を進めようと思います。

どうぞ皆さまのお力を貸してください。よろしくお願いいたします。

応援して下さる方は、以下の口座までご寄付をお願いします。また郵便局から振り込まれる方は、振込用紙に「洪水救済支援」と書いてください。

- ① 三菱東京 UFJ 銀行 茅ヶ崎支店
ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
普通 0927498
- ② ゆうちょ銀行 〇二九（ゼロニキュウ）店
ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
当座 0066497
- ③ 郵便局からの振り込み（振込用紙は郵便局にあります）
ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
00210-5-66497

皆さまのご協力をお願いします。そしてどうぞいろいろな人に拡散をしてください。